

# 所信表明

—新時代のみどり市創生に向けて—

6月2日の令和4年みどり市議会第2回定例会で、市政2期目となる須藤市長が所信を表明しましたので、その内容をお知らせします。

はじ

令和4年みどり市議会第2回定例会開会に当たり、謹んで市長就任のごあいさつを申し上げますとともに、市民の皆さまに対しまして、今後4年間の市政運営における所信の一端を述べさせていただきます。

この度のみどり市長選挙におきまして、多くの市民の皆さまの温かいご支持とご支援により、引き続き市政のかじ取り役を担う重責を負わせていただきました。

改めて、その責任の重さに身の引き締まる思いであり、引き続き市長として、愛する

ふるさと、みどり市の発展に  
全身全靈を尽くす所存であり

これまでの1期4年間においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により後半の約2年間は、感染拡大防止と経済対策などウイズコロナにおける施策に力を注いでまいりましたが、これからの中長期的には、アフターコロナに向けた未来のみどり市をつくる取り組みを強化していきたいと考えております。この度の市長選挙に当たって示した私のマニフェストに基づき、今後の市政への思いや施策の方針について、説明させていただきます。

**①活力創生・定住・交流**  
人口の拡大で活力をもたらす  
私 は、4年前の市長就任時より、みどり市の最大の課題は人口減少であると述べてきており、これから市政に当たっても地域の活力を生み出し、定住人口や交流人口の増加をもたらす施策の推進が必須であると考えております。

その一つとして、市内には3つの国道や県道などの幹線道路、JR両毛線、東武鉄道、上毛電気鉄道、わたらせ渓谷鐵道の鉄道4路線における人口の拡大で活力をもたらす

た広域交通の結束と連携を図り、まちの核となる「コンパクトなまちづくり」を推進することで、持続可能な地域活動の創生を目指すとともに、移住・定住の促進や観光誘客などの交流人口の増加を図つてまいります。

これまでに廃校となつた学校施設につきましては、地域の皆さまの思いを共有しながら、新たな施設として有効に活用してまいります。

また、引き続き地域おこし協力隊の配置と拡充に取り組んでいくほか、中山間地域における高齢化による農業の担

ど、一時的に人手が必要など  
きに登録者が従事し、手助け  
をする事業協同体の仕組みづ  
くりにも着手していきたいと  
考えております。

そのほかにも、豊かな自然  
環境や英語教育などの特色あ  
る教育環境、学校給食の給食費  
無料化制度を積極的にPR  
することで、移住者の増加を  
図つてまいります。



アシステムの構築を推進する中で、医療・介護・福祉などのサービス提供を切れ目なく行うため、NPOやボランティア団体の皆さまとの協働、そのための育成、適切なサポート体制を含めた保健・福祉などのサービス拠点となる大間々庁舎の総合福祉センター化を進めてまいります。

医療体制の整備といたしましては、質の高い医療を提供するため、今後も桐生厚生総合病院の医師確保に努めていくとともに、老朽化した病院の建て替えについても桐生市と共同して取り組んでいきたいと考えております。また、市民の命を守る取り組みを医療と予防の両面において推進していくことを願っています。

さらに「誰一人取り残さない」を旗印に、ユニバーサルデザイン、パリアフリーのまちづくりを推進していくほか、農業・林業と福祉が連携した障がい者雇用の促進など、ノーマライゼーション社会の実現を目指していきます。

災害に強いまちづくりとしては、みどり市で起こり得る



**環**境に配慮した次世代への取り組みとして、

**③環境立市・創生・産業・観光をもつと強く環**境に配慮した次世代への取り組みとして、みどり市の豊かな森林資源を活かした「環境・新エネルギー産業」の発展・集積を促進し、経済と環境の調和してまいります。その中で、脱炭素社会の実現に向けて「SDGs未来都市」の選定を目指すなど、昨年末に宣言をいたしました「みどり5つのゼロ宣言」に引き続き取り組んでまいります。

農業の分野においては、活動ある農業施策を推進していく取り組みの一環として、「ICT（情報通信技術）を活用した環境制御技術の導入支援を行うことで、生産性向上と農業所得の増加を図っていくほか、生産から加工、販売までを行う農業の六次産業化の支援を行っていきます。

道路整備と産業団地の誘致につきましては、群馬県が進める渡良瀬幹線道路の整備に遅れることなく、接続する市道などの整備を進めるとともに、産業団地の誘致について



また、商店街の活性化や観光誘致についてですが、7年後の2029年には大間々祇園まつりが400年祭を迎えます。この年は群馬県で国民スポーツ大会と全国障害者スポーツ大会が開催される年であり、全国から多くの人が

みどり市を訪れることが予想されますので、魅力ある商店街となるよう、歴史的景観の保全や活用を行っていきたいと考えております。

また、みどり市の伝統や文化を全国に発信していくため、ながめ余興場において「全国芝居小屋会議」が開催されるよう、誘致を目指してまいります。

観光誘客における取り組みといたしましては、富岡製糸場と絹産業遺産群から日光のゴールデンルートにおいて、沿線上の集客施設の整備や産業集積などを組み合せながら経済活動を創出し、加えて、滞在型観光の拠点整備としてサンレイク草木の建て替えについても取り組んでまいります。また、豊かな自然や既存の観光施設の魅力にストーリー性を持たせ、観光客の市内周遊を図ります。

そのほか、ボートレース桐生においても、ボートレース場のパーク化により、若者や親子連れなども楽しめる体験型施設の新設にも取り組み、新たな魅力を創造してまいります。

## ④市民一人一人の輝きを大切に

最初に、女性が活躍できる環境づくりとして、女性の持つ個性と能力を十分に發揮できる社会の構築が必要であると考えており、そうした環境整備を推進してまいります。

学校教育についても、市内において地域差がなく、しっかりと学べる環境を整備していくとともに、「誰一人取り残さない」をコンセプトに、退職された教員の皆さまにもご協力いただきながら放課後の小・中学生への学習支援を充実させていきます。

令和11年に開催予定の第83回国民スポーツ大会における、みどり市内での競技種目誘致や第28回全国障害者スポーツ大会におけるボッチャ競技誘致に取り組んでまいります。市民の皆さまがスポーツ

ツを「する」「観る」「支える」ことでスポーツ振興を図っていき、併せて健康寿命の延伸やスポーツによる市民の絆、一体感を醸成していきたいと考えております。

## ⑤市民のために、がんばる市役所・効率行政

時代の市役所を創生していく取り組みとして、市民サービスのワンストップ化やマイナンバーカードの活用を始めとしたデジタル化技術の活用により、利便性の向上と効率化を推進していくほか、行政サービスの拠点整備として市役所の庁舎のあり方を検討してまいります。

学校給食費の無料化を継続していくほか、ポケットパーク化（遊具のある小公園）の推進も含め、公園・広場・運動場の整備を積極的に行い、子育て環境の充実を図ってまいります。

また、桐生市をはじめとする広域市との連携を強化し、

市民の利便性向上や課題解決に取り組むほか、引き続き事務や公共施設などの見直しを行い、効率的な行財政運営に努めてまいります。

ほかにも、市長が先頭に立ったトップセールスを展開し、みどり市ブランドの販路拡大や市のイメージアップを図るとともに、県外の自治体との間で市民交流が図れる機会をつくり、交流人口や関係人口の増加による地域のにぎわい創出につなげていきたいと考えております。

## ⑥もっと便利に、快適に新たな時代のまちづくり

型コロナウイルス感染拡大は今日においても終息の見通しが付かない状況となっていることから、引き続き感染拡大防止対策に並行して、市民生活や経済活動への支援を全力で行ってまいります。

その能力を十分に發揮できるよう組織力を強化するとともに、多様化する行政課題に対応できる「行政のプロ」となる人材を育成してまいります。さらに、効率的な行政運営を図るため、市役所の組織を再編し、限られた人員で最大限のパフォーマンスが発揮できる体制を整備してまいります。

令和11年に開催予定の第83回国民スポーツ大会における、みどり市内での競技種目誘致や第28回全国障害者スポーツ大会におけるボッチャ競技誘致に取り組んでまいります。市民の皆さまがスポーツ

気なまちづくりを推進していくと考えております。その手段の一つとして、国や県の対応に遅れることなくデジタル化を積極的に推進し、市民の利便性向上を図っていくとともに、デジタル機器の操作などが苦手な人や不安な人に対しては、引き続き窓口での丁寧な対応やデジタル機器の使い方の講座を開催するなど、誰一人取り残さないためのサポートを行ってまいります。

## ⑦市民協働で実現する・まちづくり

まちづくりを進めていくに当たり、SDGsの理念に基づく「持続可能なまち」「誰一人取り残さないまち」を目指していくために、市民や事業者の皆さまと共に考え、知恵を出し合い、価値観を共有しながら進めていくことが不可欠であることをから、協働による取り組みを推進してまいります。

特に、2050年の「みどり5つのゼロ宣言」達成に向けた、次代を担う子どもたちが主役となるため、環境教育に対してこれまで以上に力を入れていきたいと思いま

す。そして、未来の全てのみどり市民の皆さまが笑顔で暮らすことのできるまちづくりを目指してまいります。



「みどり5つのゼロ宣言」をコンセプトに職員がデザインしたボロシャツのロゴマーク

現 在は、まだウイズコロナの中にありますが、やがてアフターコロナの新時代を迎えることとなり、社会状況の変化は一段と加速していくものと考えております。そうした時代の流れにあって、常に市民目線に立ち、市民の皆さまに寄り添い、そして市民の皆さまの笑顔のために、皆さまと一緒に「オールみどり」として情熱を持った「新時代のみどり市創生」にまい進する所存であります。

市民の皆さまにおかれましては、今後の市政運営にご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。